

任意団体 中部ESD拠点協議会

一般助成

1年目

知識の提供・普及啓発

SDGsにおけるESDの 主流化に向けた 「ポリシーメーカー育成塾」事業



政策塾の受講者

ポリシーメーカーを
育成する(1年) **17人**

受講生を国際会議に派遣し、
ESDの主流化に貢献する **4人**

活動の全体目標に
対する達成度 **30%**

課題

持続可能性に関わるポリシーメーカーの質的・量的不足、及び、ESDに関する新規性の高い魅力的な活動の不足と、ESDの国際的認知度の低さと主流化に向けた意識の低さ。

活動内容

中部サステナ政策塾を開塾し、持続可能性に関わるポリシーメーカーの質的・量的不足に対応すべく、若者のSD政策に関する育成を行った。本政策塾は、SD政策の塾であるという点でESDの一環として実施しており、新規性の高いESD活動であると考えられる。また、地域課題の解決に向けた政策に主眼を置きながら、国際的な持続可能性に関する動向も注視し、連携を図ることのできる若者を育てることで、上記の課題解決に寄与する。



国際会議(ユネスコGAPレビューフォーラム)に塾生を派遣

今後の課題

- 学生のみならず、企業人、NPO、行政官などの応募を増やすこと。
- 限られた回数内で、座学とフィールドワークのバランスを考慮してプログラムを構成すること。
- 塾生の言語能力に見合った国際貢献を企画すること。

成果と工夫した ポイント



成果

本事業の参加塾生に対してSD(持続可能性)政策に関する知識を教授、地域でのフィールドワーク、及び国際会議への派遣を行ったことにより、当該分野におけるSD政策を理解・立案できる若者が17名育成された。

工夫

SDGsの目標を考慮して、講座・フィールドワークを企画し、ローカル・グローバルな視点の両立を重視した。